



さくらちょうしょう

桜町小だより

「緑と笑顔がいっぱい桜町小」

児童数 319名

令和8年6月号 令和8年6月1日発行



豊かな心を育むホンモノ体験！

～ 学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ 桜町小の子 ～



校長 齊藤 敦史

連休も終わり、本格的に教育活動が再開されて1か月。学校は1学期の折り返しを迎えております。一方、例年の爽やかな「五月晴れ」とは異なり、今年は「夏日」や「真夏日」といった情報が聞こえてくるほど良い天気が続いております。学校では、今後予想される高温や多湿に備え、冷房環境の確保や水分補給の徹底等、熱中症予防をはじめ、子供たちの健康管理のため、できる限りの策を講じてまいります。

さて、先月本校では、子供たちがホンモノに触れる貴重な体験の機会に恵まれました。6年生は日光へ修学旅行に出かけ、雄大な自然や躍動感溢れる動物、歴史ある建造物や文化遺産等に直接接触れ、教室での学びとは異なる深い気づきや感動を得て帰ってきました。どの子からも「東照宮は豪華で驚いた」「友達と同じ部屋に泊まれて、最高に楽しかった」等充実を窺わせる感想が聞かれ、仲間と共に過ごした時間の中で、自分で考え、行動し、友と支え合った経験は、何にも代えがたい学びになったことと嬉しく思いました。

また、19日(火)、全校で実施した芸術鑑賞会では、プロのオペラ歌手の歌や演奏を聴き、その迫力と美しさに、多くの子供たちが魂を揺さぶられていました。「**迫力が凄かった**」「**劇は楽しかったけど、演奏は鳥肌が立った**」といった感想からも、その感動の大きさが伝わってきます。映像や音声だけでは味わえない、その場の空気や響き、演者の息づかいといったホンモノの力が、子供たち一人ひとりの感性を豊かに育んでいることを実感いたしました。

本校が大切にしている「学校行事の充実」と「ホンモノ体験」のとおり、実際に見て、聴いて、触れて感じる経験は、子供たちの心に強く刻まれ、成長の大きなエネルギーとなります。初めての体験やホンモノとの出会いは、驚きや発見、感動を生み、「**もっと知りたい**」「**もっとやってみたい**」という意欲や知的好奇心に繋がります。こうした意欲こそが、未来を生きる子供たちのこれからの学びを支える原動力になると信じております。本校では、今後も子供たちがホンモノに触れる機会を大切にしながら、主体的に学び、豊かな心を育んでいけるよう教育活動を充実させてまいります。

なお、今月も3年生の社会科見学や6年生の音楽鑑賞教室と、該当学年にとって楽しみな行事が控えております。また、全校ふれあい遠足や、夏ならではの教育活動「水泳学習」も予定されております。ご家庭におかれましては、お子様の健康状態を注視していただくとともに、いずれの行事も安全で思い出に残る教育活動となるよう、ご協力をお願いいたします。

ご家庭や地域の皆様におかれましては「学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ さくらっ子」の思いを共有していただき、今月も引き続き、本校教育活動へのご理解・ご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。